## 実習 5:JDBC データソースのセットアップ

この実習では EspressReport ES のインストールを含む HSQL JDBC データベースへの接続を行います。 JDBC ドライバのクラスは、ERES の Web アプリケーションインストール時に自動的に追加されていま す。一般的な JDBC ソース(MS SQL、MySQL、Oracle、PostgreSql、Informix、HSQL)のドライバを含 みます。もし別バージョンのドライバや新しいドライバが必要であれば、<*ERES\_InstallDir>/Web-Inf/lib* ディレクトリに交換または追加を行うことができます。

- 1. 実習4で作成したデータレジストリを開きます。
- 2. 「Databases」ノードを選択し、「ADD」をクリックします。これにより接続の詳細を設定するためのダイアログが表示されます。
- 3. 「Driver List」ドロップダウンメニューから「HSQL」を選択します。「Driver」と「URL」オプショ ンは自動的に設定されるため、ドライバのクラスパッケージや URL 構文を覚える必要はありません。
- 4. 「URL」フィールド内の「<PATH TO DB>」を HSQL データベースの実際のパスに変更します。この実習では下記の内容に変更します。

## help/examples/DataSources/database/woodview

注意:このパスは ERES のインストールフォルダからの相対パスです。

- 5. 「Require Login」と「Save Password」のチェックボックスを選択し、「User Name」に"sa"を入力し、「Password」には何も入力しません。
- 6. 最後に名前を入力します(例:Woodview)。そのときの「Setup Database...」ダイアログの表示は 以下のようになります。

🛃 Setup Database	
Database Info	rmation
Name:	Woodview
Driver List:	HSQL 👻
URL:	jdbc:hsqldb://help/examples/DataSources/database/woodview
Driver:	org.hsqldb.jdbcDriver
User Name:	sa
Password:	
🔽 Require	Login 📝 Save Password
Test Connection	
Default Options	
📝 Auto Joi	n
Unqualified Table Name	
Multiple Database Options	
	Add Edit Remove
	OK Cancel

7. 設定が正しいか確認を行うために、「Test Connection」をクリックした後に、「Ok」をクリックし ます。データソースマネージャーにデータベースが追加されます。